

経営比較分析表（令和4年度決算）

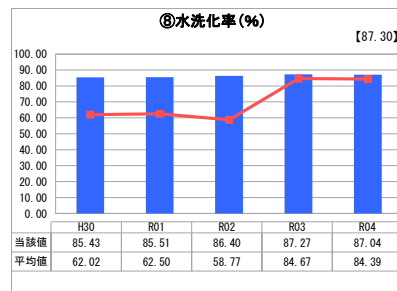
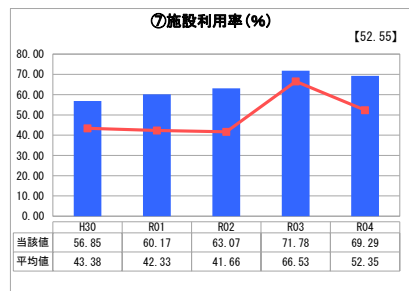
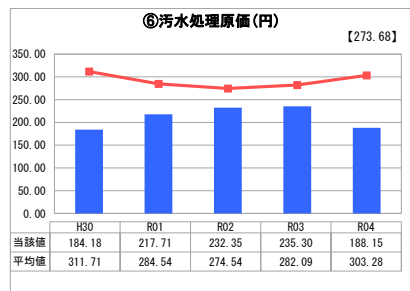
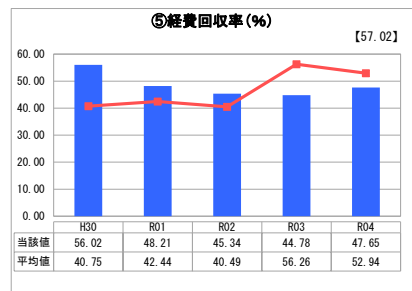
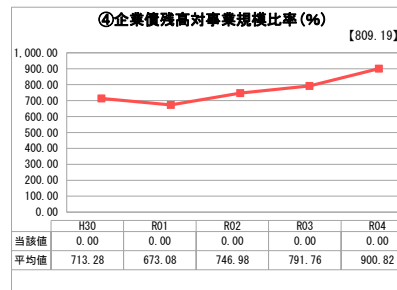
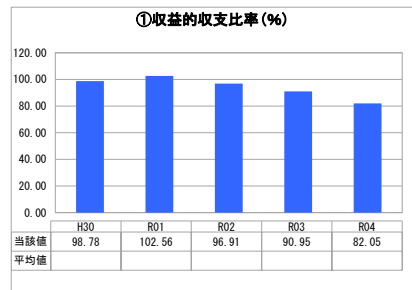
埼玉県 鳩山町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	6.47	97.38	1,925

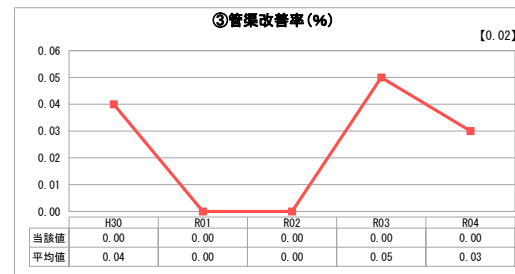
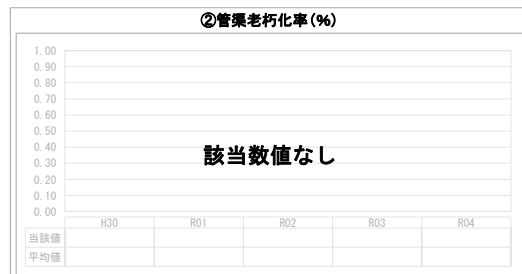
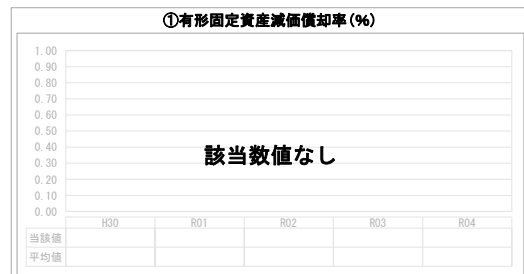
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
13,158	25.73	511.39
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
849	0.24	3,537.50

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 令和4年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

収益的収支比率は、前年に比べ減少した。これは、令和5年度からの公営企業会計移行に伴う打切り決算により、2,3月分の使用料が入っていないこと、及び一般会計からの繰入金が前年度に比べ少なかったためである。
経費回収率が例年100%に至っておらず、汚水処理に係る費用が、使用料のみでは賸えず一般会計繰入金から補填している状況である。使用料収入の確保のため、今後、適正な額に改定するなど経営改善に向けた取組が必要である。
汚水処理原価は、類似団体平均値を下回っている。施設利用率は、類似団体平均値を上回り、施設の処理能力が、一日平均処理水量に対し、適正な規模となっている。
また、水洗化率も類似団体平均値を上回っている。

2. 老朽化の状況について

平成29年度に施設の機能診断を実施し最善整備構想を策定した。
施設本体、管路については供用開始後17年で耐用年数を超えていないため大きな老朽化は見られず更新の必要はない。
施設の機器については経年劣化による故障が目立ち、今後も年数を重ねるたびに各機器の故障が懸念される。

全体総括

使用料の見直しについては、町内他地区の下水道使用料との均衡を図る観点から、下水道組合と協議し同時期に実施する予定である。
今後は、令和6年度に維持管理適正化計画を策定し、維持管理コストの負担軽減に向けた対策を検討していく。
また、令和5年度から公営企業会計を適用し、経営課題を明確にして事業経営の健全化を図っていく。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。